

平成 30 年度

# 事業計画書及び収支予算書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人 会田病院

# 平成30年度 公益財団法人会田病院 事業計画

## 〔基本目標〕

1. 良質な医療を安全に効率よく提供できる体制の確立
2. チームアイダのスタッフひとり一人の人間力向上対策
3. 経営基盤の確立
4. 病院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

## 〔重点目標〕

### 1. 法人全体（各事業部門共通）

- 1) 公益財団法人の組織の確立
  - ・ 法人組織運営の実務機能を整備及び向上させ、組織力の再構築を図る。
  - ・ 将来の医療・介護環境の変化に対応できるよう、中期計画の実現に向け引き続きプロジェクトにて当法人のあるべき姿、役割、方向性の施策を立案する。
- 2) 職員就労環境の整備と人材育成
  - ・ 社会人、医療人としてコンプライアンスに高い意識を持ち、社会の規範を遵守する医療人を育成する。
  - ・ 職員の多様な雇用形態や採用戦略の見直しを行い、人材確保を強化する。
  - ・ 職員が心身共に元気に働ける病院を目指し、健康づくりを積極的に行い職員の生産性・収益性を高める「健康事業所宣言」に取り組む。
  - ・ 職員満足度調査を実施し、就労環境の向上に取り組み、働きやすい環境づくりを推進する。
- 3) 経営基盤の安定化
  - ・ 職員全員が経営に参画し、収支目標達成に向けた行動計画を策定し、PDCA サイクルを意識し取り組む。
  - ・ 効率的・効果的な業務運営の改善を図り、自律性・機動性・コスト意識を持って増収及び費用削減に取り組む。
- 4) 地域に貢献する事業
  - ・ 地域密着型病院づくりを目指し、定期的交流事業を行い地域住民へ還元する。
  - ・ 各学校・施設・団体等へ健康アドバイザー活動を通し、医療・介護・福祉の知識向上や健康増進に対する啓蒙に取り組む。
  - ・ 寄附をしやすいしくみを作り、寄附を地域に定着させる。

### 2. 会田病院

- 1) 診療環境の充実
  - ・ 外来・入院の診療機能を十分に活用し効率的・効果的な運用を行い、地域のニーズに応じた医療提供体制を構築する。
  - ・ 救急患者の受入を積極的に行い、地域住民が安心できる医療を提供する。
  - ・ 健康増進・予防医療に対する病院からの積極的な情報発信、検診事業の強化を行う。
  - ・ 地域の医療機関との役割分担や連携及び施設、行政等との連携強化を図り、中核病院としての役割を果たすべく地域包括ケアシステムの基盤づくりをする。

- 2) 安全で良質な医療サービスの提供
  - ・ 患者の安全を最優先した質の高い医療サービスを提供する。
  - ・ よりよい病院機能にむけて医療の標準化及び業務改善を行い資質向上に取り組む。
  - ・ 他職種とのチームコミュニケーションを向上させ、横断的連携強化によるチーム医療を推進する。
  - ・ オーダーリングの更新、看護支援の導入及び各部署の情報システムを活用し、情報共有を強化する。
  - ・ 病床施設基準の取得・維持、見直しを図り適正な運用を行い、医療の質の向上を目指す。
- 3) 職員の教育及び資質向上
  - ・ OJT（職場内教育）、OFF-JT（職場外教育・研修）、自己研修等に向けた職員の研修支援を充実させ、専門性が高く地域に貢献する医療人へ育成する。
  - ・ 大学・専門学校等の実習等の受入れを行い、指導能力を高める。
  - ・ 外部に対する教育研修事業への参加を通し、職員の能力を開発する。

### 3. すみれ訪問看護ステーション

- 1) 在宅におけるターミナルケアに向けた体制づくりを整備し、医療機関と在宅医療の連動した在宅介護支援システムを推進する。
- 2) 訪問経路の見直しを図り、効率的・効果的な訪問を実施する。
- 3) 地域の関係機関や利用者またその家族と連携を密にし、きめ細やかな対応と質の高いサービスを提供し、選ばれる訪問看護ステーションを目指す。

### 4. すみれ介護相談センター

- 1) 利用者環境に応じた適切なサービスの提案及び計画に基づいたサービス提供が適切に実施されるように、各事業所との連絡調整を十分に行う。
- 2) 介護支援専門員の質の向上を図り、医療機関との連携強化し、入退院時連携を充実させる。

### 5. 会田病院ヘルパーサービス

- 1) 業務の見直しや基準・加算の取得・維持について適正な運用を行い、利用者の自立支援に向けたサービスを提供する。
- 2) ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑を図り、勤務環境やケア内容の改善を行う。

### 6. 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

- 1) 居宅訪問利用者の適切な管理及び指導を行い、療養生活の質の向上に向けたサービスを提供に努める。

### 7. 会田通所リハビリテーション

- 1) 地域のニーズや改正等による様々な変化に対応すべく受け入れ体制を整備し、地域が必要とする介護サービスを提供する。
- 2) 会田通所リハビリテーションの特性・特徴を充実させ、情報発信の強化や施設見学の実施を行い利用者確保に努める。
- 3) 事業所内研修や外部研修による情報を共有し、介護サービスの質向上に努める。